

## 第241回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成27年4月28日(火) 13:30~15:00
2. 場 所 事務局 第2会議室
3. 出席者 中井学長、功刀副学長、三浦副学長、神子副学長、  
小沢副学長、千葉副学長、  
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、松下評議員、  
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員、  
真田経済経営学類長、阿部評議員、佐野評議員  
二見共生システム理工学類長、山口評議員、佐藤評議員、  
小島統括学系長、中村事務局長  
【オブザーバー】青柳理事、平山監事
4. 欠席者 高橋監事(オブザーバー)

5.

審議事項

なし

報告事項

1. 法人評価における学部・研究科等(現況分析単位)の学系部会への分類について  
資料1
2. 平成27年度科学研究費助成事業採択状況について  
資料2
3. 福島大学貴重資料保管室(仮称)のあり方に関する検討委員会要項について  
資料3
4. 茨城大学人文学部・宇都宮大学国際学部・福島大学行政政策学類の研究者交流  
協定の締結について  
資料4
5. 学長選考会議における審議状況について  
資料5
6. その他  
・附属図書館の再開(仮オープン)について  
資料6

【確認事項】

第240回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【報告事項】

- (1) 法人評価における学部・研究科等(現況分析単位)の学系部会への分類について  
功刀副学長から、資料1に基づいて、第2期中期目標期間評価における教育研究  
組織の現況分析単位について、平成27年3月4日付けで文科省国立大学戦略室か

ら確定通知があったこと、各学類から回答のあった現況分析単位の学系分類について、第1期と同様の分類としたこと、及び学系分類については4/24回答〆切であったため、4/23に大学評価学位授与機構へ回答した旨の報告があった。

また、評価室から、「教育評価に係る実績報告書」のうち、「研究業績説明書」については平成28年5月に、「学部・研究科等の現況調査表」及び「中期目標の達成状況報告書」については6月末にそれぞれ文科省に提出すること、及び今年5月には作業スケジュールを示したいとの説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 平成27年度科学研究費助成事業採択状況について

千葉副学長から、資料2に基づき、平成27年度科学研究費助成事業の採択状況について、採択数及び採択件数はいずれも前年を上回っていること、新規採択件数は過去最高であること等の報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(3) 福島大学貴重資料保管室（仮称）のあり方に関する検討委員会要項について

千葉副学長から、資料3に基づき、福島大学貴重資料保管室（仮称）のあり方に関する検討委員会の設置に関わり、趣旨、設置要項等について報告があった。

質疑の中で、①図書館は公共的な空間であり、研究者個人ではなく、大学にとって公共性のある貴重な資料を保管するような場所にする、②夏までには方向性を決め、年度内には資料を搬入したいこと、③什器の調達とその配置及び保管の仕方については、今後議論していくこと、④資料室の運営には、別の組織が必要であり、それらについて今回の検討委員会で決めていくとの説明があった。また、保管室について、ラーニング commons の拡張など別の用途も考えるべきではないかとの意見も出された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(4) 茨城大学人文学部・宇都宮大学国際学部・福島大学行政政策学類の研究者交流協定の締結について

久我行政政策学類長から、資料4に基づき、標記3大学学部、学類による研究者交流協定の締結について、経緯と今後のスケジュールなどの報告があった。

質疑の中で、久我行政政策学類長から、今回の協定は昨年17大学人文系学部長会議にて、茨城大学から行政政策学類に提案がなされたいきさつがあるが、行政政策学類だけでなく学群で参加していくという可能性も今後探っていきたいとの発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(5) 学長選考会議における審議状況について

真田経済経営学類長（学長選考会議副議長）から、資料5に基づき、学長選考会議におけるこれまでの議論等について報告があった。

質疑では以下のような意見が出された。

- ・ 2番目の項目「人間性や人格の面から」は内容から見て、人間性・人格の面ではなく組織運営の面からの学長像ではないのか。
- ・ 記載順番として「社会の中での大学の在り方の面から」を最初に書いた方が良いのではないか。
- ・ 中間評価について、大学運営の手段についてだけでなく、目標達成の評価も必要なのではないか。

真田経済経営学類長から、今後の会議において、出された意見も参考にしながら議論したいとの発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(6) その他

- ・ 附属図書館の再開(仮オープン)について

千葉副学長から、資料6に基づき、附属図書館の再開(仮オープン)について、日程、サービス概要等について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

・ 千葉人間発達文化学類長から、人事戦略室会議において平成27年度の人事凍結についての方針が確認されているが、教育研究評議会では報告しないのかという質問が出された。功刀副学長から、「凍結」という表現にはなっているが、今後人事を調整する上でとりあえず新しい人事を保留してほしいとの意味であり、人事戦略室会議である程度の方針が決まった段階で、教育研究評議会でも報告したいとの発言があった。